



平成23年9月15日

国際シンポジウム「東アフリカにおける作物生産と植物ストレス科学イノベーション」を開催

<概要>

岡山大学資源植物科学研究所が現在取り組んでいる「植物ストレス科学」と「アジア・アフリカ学術基盤形成事業」とに関する国内外の関連研究者を招聘して現在の到達点を明らかにするとともに将来の展望を議論する国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムは過去27年間毎年開催してきた研究所主催のシンポジウムとして実施します。

<本文>

- 国内外の研究者8名による講演と全体討論をおこないます。日本学術振興会がスポンサーの「アジア・アフリカ学術基盤形成事業」において資源植物科学研究所が東アフリカ地域で展開している作物ストレス科学研究の実践、応用に関して報告と展望の機会とするとともに、ひろく植物ストレス科学研究について考えるためにこのシンポジウムを企画しています。アフリカの現地で研究している研究者や、米国、スイス、韓国の研究者が来日して講演します。講演・討議は英語でおこなわれます。
- 日時：2011年10月7日（金）9：30～17：30
- 場所：倉敷市芸文館アイシアター
- 講師等：添付資料参照
- 入場無料 ただし事前登録必要（申込先はWEBから、または研究所に問い合わせ）
- 「植物ストレス科学」とは・・・養分不足、乾燥などの不良（ストレス）環境を克服して生育が可能となる作物の作出を目指して、ストレスに適応する植物のメカニズムを研究する科学です。

<お問い合わせ>

岡山大学 資源植物科学研究所
且原真木（かつはらまき）
電話 086-424-1661（内線1221）
FAX： 086-434-1249